



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.26

たちばな

2015.7.1



品川キャンパス トークパレット前



たちばなの花

◆ 発行 / 立正大学校友会 ◆

- P.02 平成26年度校友会事業報告および決算報告、予算
- P.04 平成26年度校友会費B納入者一覧
- P.05 立正大学生涯メールについて
- P.06 卒業生向け Office365 操作手順書
- P.09 ホームカミングデーのご案内 / 平成27年度大学同窓会定期総会開催報告
- P.10 事務局長連絡会・代議員会開催報告 等
- P.11 平成26年度同窓会事業報告および決算報告
- P.13 平成26年度短期大学事業報告および決算報告、予算案
- P.14 昭和53年「秋期年末闘争」と郵政会
- P.15 平成26年度郵政会事業報告および決算報告、予算
- P.16 平成27年度橘会定期総会開催報告 / 橘会新会長就任のご挨拶
- P.17 平成26年度橘会奨励賞 受賞者の声
- P.18 平成26年度橘会事業報告および決算報告、予算
- P.19 平成27年度保護者懇談会開催日程

平成26年度立正大学校友会事業報告書 (期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業	内容
会議	第1回(4月23日) 校友会役員、監査報告、校友会事業計画・収支予算追認承認等 第2回(7月16日) 第1期校友会奨学生採用審査、校友の集いホームカミングデー開催検討 第3回(11月19日) 第2期校友会奨学生採用審査、校友の集いホームカミングデー開催報告、生涯メールについて、平成27年度以降の学生厚生補助費について 第4回(12月17日) 前期事業・決算報告、平成27年度事業計画案・収支予算案検討
校友会主催講演会	講演：高野誠鮮氏(本学客員教授) 演題：ローマ法王に米を食べさせた男 大学同窓会定期総会、立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会定期総会・懇親会開催(熊谷キャンパス、ゲートプラザ、教室、学生食堂ステラにて開催)
校友の集い	◆法学部主催 法学部卒業生異業種交流会(法学部卒業)：10名 ◆名誉教授記念講演会：高村弘毅名誉教授：30名 ◆在職 教員の先輩と話そうプロジェクト：30名 ◆「わくわくさん」でおなじみの久保田雅人さんトークショー：100名 ◆「立笑(正)点」寄席：30名 ◆OB・OG先輩を囲む会～社会を知ろう!先輩と会おう～：60名等 (講演会参加人数：260名) ◆東京中小企業家同友会南部協議会：2名 ◆ハガキ・切手の販売(大崎郵便局)：3名 ◆パネテリア・アリエッタ(焼きたてパン)：4名 ◆農園窯焼きピザ オラゲーノ(ピザ・ドリンク)：2名 ◆牛たん炭焼利久：5名 ◆日本酒プロジェクト(学生とのコラボ 権田酒造)：14名 ◆経営学部吉田ゼミ(ハイサワー)：15名 (参加企業及び参加者人数：45名) 同窓会事務局長会議：35名 同窓会主催地方物産展：15県2学部：参加者数未計上 校友会主催記念懇親会参加者数：100名
広報活動	校友会報「たちばな」大学同窓会情報含 校友会ホームページ 校友会案内リーフレット作成・配付
在校生支援(大学同窓会協働連携事業)	入学記念品贈呈 新入生ガイダンスにて贈呈 卒業記念品贈呈 3月14日大学院修了式・3月24日学部卒業式にて贈呈 校友会奨学生採用 ◆第1期：12名採用 ◆第2期：35名採用 ◆臨時：1名採用 課外活動助成費 一般助成・特別助成 11,800,000円 学園祭実行委員会助成 橘花祭実行委員会：2,400,000円・星霜祭実行委員会：2,400,000円 課外活動奨励事業助成・ボランティア支援費 1,500,000円 キャリア支援事業助成費 3,000,000円 国際交流支援事業助成費 3,000,000円
会員情報管理	・新卒者登録：平成26年3月新卒者および平成26年9月新卒者を登録 ・構成団体活動支援として会員情報の提供と提供に伴う管理
構成団体支援	構成団体助成費 大学同窓会(24,500,000円)、短期大学部保育専門学校同窓会(1,200,000円)、橋会(20,000,000円)、郵政会(1,000,000円) 大学同窓会支援 定例理事会・代議員大会・全国定期総会・支部学部総会等開催運営支援、ホームページ・会報等による活動情報や開催案内の告知・報告、大学資料等提供 その他 橋会支援 保護者懇談会開催支援、ホームページ・会報等による活動情報や開催案内の告知・報告 その他 短期大学部保育専門学校同窓会支援 卒業生の集い・定期総会開催支援、ホームページ・会報等による活動情報や開催案内の告知・報告、大学資料等提供 その他 郵政会支援 定期総会、地方代表者総会、役員会等開催支援、ホームページ・会報等による活動情報や開催案内の告知・報告、大学資料等の提供 その他
その他	校友会B(卒業生会費)徴収対応 平成26年7月1日発行立正大学学園新聞へ同封し、会費納入の依頼を実施 総会：平成26年11月2日開催 名譽教授倶楽部支援 世話人会：平成26年10月3日開催

平成26年度立正大学校友会決算報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
校友会費A(新入生・在校学生会費)	124,920,000	124,925,000	5,000
校友会費B(卒業生・現元教職員会費)	6,000,000	5,347,000	▲653,000
雑収入	45,000	0	▲45,000
収入合計	130,965,000	130,272,000	▲693,000

□校友会費A(在校学生会費)は入学年次会費18,000円、2年次以降各学年会費10,000円。

□校友会費B(卒業生・現元教職員会費)は年3,000円。

支出の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
人件費(講師講演料)	200,466	155,918	44,548
旅費交通費	270,000	111,336	158,664
会議会合費	388,800	388,800	0
通信運搬費	7,835,000	7,882,241	▲47,241
印刷製本費	7,471,000	5,171,281	2,299,719
委託費	4,884,480	3,172,641	1,711,839
手数料報酬	240,000	407,472	▲167,472
賃借料	300,000	0	300,000
学生助成費	57,010,440	53,845,878	3,164,562
校友会構成団体助成費	46,700,000	46,700,000	0
校友会特別助成費	3,000,000	0	3,000,000
校友会10周年記念事業費	2,000,000	2,000,000	0
大学経理部所管	664,814	10,436,433	▲9,771,619
総計	130,965,000	130,272,000	693,000

特記事項

- ①通信運搬費のうち卒業生向け校友会報・学園新聞発送費7,500,000円は政策広報課予算へ移管済
- ②学生助成費のうち校友会奨学金11,400,000円、課外活動助成費11,800,000円、橘花祭・星霜祭実行委員会助成費4,800,000円、在校生支援事業・ボランティア活動助成費1,500,000円は学生生活課予算へ移管済
- ③キャリア支援事業費3,000,000円はキャリアサポートセンター予算へ移管済
- ④国際交流支援事業助成費3,000,000円は国際交流センター予算へ移管済

平成27年度立正大学校友会収支予算書

(期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減
校友会費A(新入生・在校学生会費)	123,790,000	124,920,000	▲1,130,000
校友会費B(卒業生・現元教職員会費)	6,000,000	6,000,000	0
雑収入	0	45,000	45,000
収入合計	129,790,000	130,965,000	▲1,175,000

□校友会費A(在校学生会費)は入学年次会費18,000円、2年次以降各学年会費10,000円。

□校友会費B(卒業生・現元教職員会費)は年3,000円。

収支の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減
人件費(講師講演料)	200,466	200,466	0
旅費交通費	270,000	270,000	0
会議会合費	388,800	388,800	0
通信運搬費	7,931,000	7,835,000	96,000
印刷製本費	7,969,080	7,471,000	498,080
委託費	6,326,880	4,884,480	1,442,400
手数料報酬	240,000	240,000	0
賃借料	300,000	300,000	0
学生助成費	54,394,440	57,010,440	▲2,616,000
校友会構成団体助成費	46,700,000	46,700,000	0
校友会特別助成費	3,000,000	3,000,000	0
校友会10周年記念事業費	2,000,000	2,000,000	0
大学経理部所管	69,334	664,814	▲595,480
総計	129,790,000	130,965,000	▲1,175,000

特記事項

- ①通信運搬費のうち卒業生向け校友会報・学園新聞発送費7,500,000円は政策広報課予算へ移管
- ②学生助成費のうち校友会奨学金11,400,000円、課外活動助成費11,800,000円、橘花祭・星霜祭実行委員会助成費4,800,000円、課外活動奨励事業は学生生活課予算へ移管
- ③在校生支援事業(海外でのインターシップ並びにボランティア活動等奨励奨学金)1,500,000円は国際交流センター予算へ移管
- ④校友会構成団体助成費内訳は、大学同窓会24,500,000円、短期大学部保育専門学校同窓会1,200,000円、橋会20,000,000円、郵政会1,000,000円
※事業計画は第25号をご覧ください。

校友会費B等納入者芳名(敬称略) 《平成26年度 下期(8月26日～平成27年3月31日納入分まで)》

—ありがとうございました—

- ◆北海道◆
伊藤賢良
伊東正明
遠藤泰史
北村舜襄
近藤真司
今野公一
須藤昌章
藤川いく子
- ◆青森県◆
小形絢子
小山田顕裕
工藤泰輝
工藤泰史
小林祐也
溝口和孝
安田道
- ◆岩手県◆
金森光一
川村均
佐々木法男
佐藤好勇
藤原美千子
- ◆宮城県◆
阿部邦英
風間文静
兼重英忠
菅野貴順
鈴木亮悦
橋本勝美
畠山カヨ
- ◆秋田県◆
岩谷宣行
東海林諦顕
高橋葵
藤下宗一郎
藤田稔
吉田祐太
- ◆山形県◆
秋葉良一
吉田清美
- ◆福島県◆
大内一男
大越正幸
佐瀬栄
佐藤良宗
三鉦吉伯
須藤庄司郎
高橋達雄
西岡木博
山上大介
- ◆茨城県◆
石島陽子
- 軽部操
栗山千和(和憲)
坂田有里恵
嶋村誠
杉山忠彦
峯岸伸一
- ◆栃木県◆
磯藤宗也
磯藤日勝
磯藤百合子
金谷かおり
斎藤順昭
須藤美智子
高村正幸
室田憲司
- ◆群馬県◆
大野茂之
金古直美
金古義彦
櫻井菜津美
西島岳史
松山範彦
横田秀雄
吉崎鉄平
渡邊秀明
- ◆埼玉県◆
堆功
安藤幸次
石川孔一
石川悌弘
石松明長
市川幹
逸見光久
逸見美智子
大友克純
大野史男
大屋亘
岡田恵美子
鏡味國彦
金子太郎
川田佳子
川鍋孝
熊谷久美子
栗原清
後藤浩樹
小林正博
齊藤勇
佐久間二郎
佐藤良宗
三鉦吉伯
須藤庄司郎
高橋達雄
西岡木博
山上大介
- ◆東京都◆
阿部定吉
井口範英
石田忠雄
市川正行
- 高橋精一
田島美恵子
田中紀子
田村一則
塚本恵七郎
長谷川智子
秦野眞
瀧畑芳和
福島祥郎
堀田和雄
堀込茂正
松永勇人
三木智一
宮崎知得
森田俊嗣
矢部幸雄
山口雅功
山下良雄
吉澤寿子
- ◆千葉県◆
石川貞雄
石渡亜喜子
伊丹賢
今関幸男
大木正
大部紗都子
大森俊栄
小川馨
奥村秀夫
尾崎敏明
落合淳隆
兼子卓也
川崎雅是
市川靖朗
北尾義昭
北原輝信
斎藤浩一
下垣伸吉
十文字佐太吉
染谷順子
竹田軍郁
寺田知世
常世田正猪
富田博行
南雲博明
難波壽貴
二宮由泰
廣永文子
廣永哲全
宗川美紀
村松孝治
百井誠栄
山田日等
- ◆東京都◆
阿部定吉
井口範英
石田忠雄
市川正行
- 今井正行
岩崎巧
宇佐美賢次
内野宏
大越義己
大島芳材
大谷治
小野寺捷
加納良造
加納良賢(康夫)
- ◆神奈川県◆
飯塚康行
五十嵐義浩
石原日出夫
大内洋
小川良雄
小俣幹人
柿谷正期
久保田圭一
小谷幸雄
小林政義
酒井昭宏
座間瑛二
渋谷直孝
鈴木嘉昭
高橋浩一
田中恵子
成田康彦
原敬一
平間健治
三橋敬司
三橋良行
三橋行蔵
村上辨祐
柳下則久
山縣良明
山口直人
山田日耀
- ◆新潟県◆
伊藤久美
岩橋光徳
岡地みつひ
小山正弘
佐山知也
渋谷文宗
田中京子
寺澤正夫
八木好淳
八木豊
安田詮海
- ◆富山県◆
海内幸雄
酒井重律
草野寛行
- 茂田井教洵
森健二
油井永式
横山俊一
渡邊彰良
渡邊宝道
- ◆石川県◆
守山昌矩
吉田弘信
- ◆福井県◆
上嶋正守
- ◆山梨県◆
内野光智
遠藤太一
刈込義旺
窪田広宣
角田義晶
仲澤浩祐
仲澤哲志
望月成浩
- ◆長野県◆
畔上裕明
生島富弥
市川恵一
岡島能里子
小倉光雄
小田切京子
北澤昇
倉石康成
清水昌幸
高野良之
原親男
古幡眞理
- ◆岐阜県◆
山川俊夫
- ◆静岡県◆
鎌倉靖利
北島充大
佐藤輝一郎
洲脇誠
藤谷定義
諸星京
渡邊定元
渡邊卓也
- ◆愛知県◆
伊藤友謙
犬飼盛勝
榊原浩之
佐治博英
内城亨
中田敦之
則武幸嗣
- 竹内瑞隆
- ◆山口県◆
大庭祥秀
- ◆京都府◆
貫名英功
藤田尚哉
- ◆滋賀県◆
田原秀郷
- ◆大阪府◆
井上茂
岡部泰鑑
玉井良治
中西誠
- ◆兵庫県◆
稲葉能持
後藤悟
谷口尚子
本間昇
松田有生
- ◆奈良県◆
出沖秀雄
水野隆正
- ◆和歌山県◆
木村嘉孝
野口憲二
- ◆鳥取県◆
大黒謙二
山本幸利
- ◆島根県◆
伊藤孝一
岡本亮治
小林哲朗
沼宗秀
古瀬修一
- ◆岡山県◆
土井盛弘
平井典子
山田直子
- ◆広島県◆
大上敏春
木村謙司
小林信行
佐伯恵順
柴田章延
土居民喜
- ◆香川県◆
大井満明
加茂佳史
小西從之
中村俊行
野並美恵
- ◆愛媛県◆
松本猛
- ◆高知県◆
三宅啓夫
- ◆福岡県◆
鶴澤恭温(哲郎)
岡崎円秀
塩川秀敏
堂前亮平
徳永前啓
中野義孝
- ◆佐賀県◆
古賀信治
田中穂積
- ◆長崎県◆
浅井円誓
寺澤次雄
- ◆大分県◆
伊東祐一
大塚千愛
- ◆宮崎県◆
柳田直人
- ◆鹿児島県◆
谷村昌平
中川原正
- ◆沖縄県◆
大城春吉
小橋川春武
照喜名祥吾

お寄せ頂いた会費・寄付金等納入者につきましては、平成17年4月より個人情報保護法が施行されておりますが、都道府県名・氏名に限って公表させて頂きました。何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。

立正大学生涯メール始めました

立正大学では、平成27年4月より立正大学の在学・卒業・修了された方に生涯利用できるメールアドレス「例：学籍番号@rissho-univ.jp」を提供しています(教職員OBの方もご利用になれます)。メールシステムとしてマイクロソフト社のOffice 365を使用しており、Webサイトを利用してご自宅のパソコンやスマートフォンでメールの送受信が安心・安全に行なえます。このアドレスには、立正大学校友会発信のメールマガジンやイベント情報、立正大学のニュースなどの情報をお送りします。※Office365の操作手順は本誌の6～7P、または校友会HPをご覧ください。

立正大学生涯メール利用方法

- ① メールアドレスの取得
URL: 学籍番号@rissho-univ.jp
【平成26年度以降卒業生・修了生】
⇒ 利用申請は不要ですが、在学中に利用していたパスワードを変更する必要があります。
【平成25年度以前の卒業生・修了生】
⇒ ・ 利用をご希望の方は、新規利用申請が必要です。
・ 立正大学生涯メールサービス利用規約をご一読いただきご承認のうえ、右記の要領でお申込下さい。
- ② 利用開始前のパスワード変更
URL: <https://pass.ris.ac.jp/iumus/>
上記のパスワード変更ページにアクセスし、パスワード変更を行なってください。変更後、3~5時間程度で利用できるようになります。
・ メールアドレスは、平成27年4月3日より利用可能
・ 利用開始に際し、在学中に利用していたパスワードの変更が必要
- ③ メール利用開始(Webサイト(Office365))
URL: <https://outlook.office365.com/owa/>



立正大学生涯メール利用申込の流れ

- 【平成25年度以前の卒業生、修了生】
立正大学生涯メールを利用ご希望の方は「立正大学生涯メールサービス利用規約・プライバシーポリシー」をご一読いただき、ご承認のうえ、下記の要領でお申込下さい。※利用規約・プライバシーポリシーにつきましては、「たちばな」25号にも記載がございます。
- <STEP 1> 必要書類を用意
所定の利用申込用紙に必要事項を記入してください。利用申請書は立正大学校友会ホームページよりダウンロード(PDFファイルまたはEXCELファイル)できます。
- 有効期限内の本人確認書類を用意してください。
運転免許証、パスポート、その他公的証明書類いずれかのコピー
- <STEP 2> 申込み
利用申込書と本人確認書類を学長室校友課宛メールまたはFAXで送信するか郵送してください。
- 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
立正大学 学長室 校友課
TEL: 03-3493-6673
FAX: 03-3493-9068
E-mail: alu@ris.ac.jp
- <STEP 3> 登録
申込用紙に記入いただいた住所にメールアドレスと仮パスワードを郵送いたします。
- <STEP 4> 利用開始
パスワード変更ページにて仮パスワードを入力しログイン後、任意のパスワードを設定しご利用を開始して下さい。



◆ 卒業生向け Office365 操作手順書 ◆

(平成 27 年 6 月現在)

【 利用条件 】

◆ パスワード変更

Office365 にログインする前に、必ずパスワード変更を実施する必要があります。

◆ 推奨ブラウザ

推奨されているブラウザの対象バージョンは以下の通りです。

- Internet Explorer 9 以上
- Firefox 最新バージョン
または 1 つ前のバージョン
- Chrome 最新バージョン または
1 つ前のバージョン
- Safari 6 以降

※ Microsoft 社の仕様変更により、予告なく変更となる場合があります。

【 ① パスワード変更方法 】

- (1) Web ブラウザを起動し、アドレスバーにパスワード変更ページ URL <https://pass.ris.ac.jp/iumus/> を入力します。



- (2) 「UnifIDone」というログイン画面が表示されますので、お知らせした ID とパスワードを入力してログインします。



【 ② サインイン方法 】

- (1) Web ブラウザを起動し、アドレスバーにサインイン URL を入力します。

URL : <https://outlook.office365.com/owa/>

- (2) ユーザー名とパスワードを入力して、サインインします。

ユーザー名 : 学籍番号@rissho-univ.jp

※初回サインイン時は、言語に「日本語(日本)」を、タイムゾーンに「大阪、札幌、東京」を選択します。



【 ③ サインアウト方法 】

- (1) 画面右上の人型アイコンをクリックし、【サインアウト】をクリックします。

【 ④ メール受信方法 】

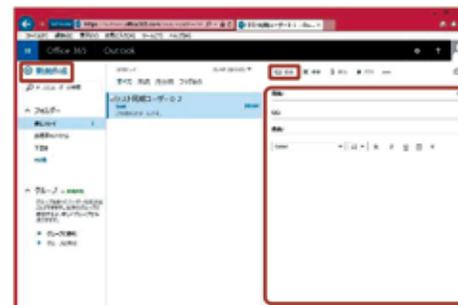
- (1) メールが届くと、画面右上に、新着メールアイコンが表示されます。また、未読メールは太字で表示されます。

- (2) 表示したいメールをクリックすると閲覧ウィンドウにメール内容が表示されます。



【 ⑤ メール送信方法 】

- (1) 【新規作成】をクリックします。
- (2) 【宛先】、【件名】、【本文】を入力して【送信】をクリックすると、作成したメッセージが送信されます。



【 ⑥ メール返信方法 】

- (1) 返信したいメールを選択します。
- (2) ツールバーより【返信】もしくは【全員に返信】マークをクリックします。
- (3) メッセージを作成し、【送信】をクリックします。



【 ⑦ 予定表登録方法 】

- (1) 左上のアイコンをクリックし、【予定表】をクリックします。
- (2) 【個人用の予定表】の上で右クリックし、【予定表を開く】をクリックします。
- (3) 【ディレクトリから】テキストボックスに登録する予定表のメールアドレス (a-cal-alumni@rissho-univ.jp) を入力し、【開く】をクリックします。



【 ⑧ 予定表について 】

- (1) 下図の青い予定表が自分の予定表で、緑の予定表が追加した予定表です。

※ 緑の予定表の予定を参照することはできますが、編集することはできません。

- (2) 大学の予定表を追加する場合は、「予定表登録方法」のメールアドレスを (a-cal-univ@rissho-univ.jp) に置き換えて再度実施します。



【 ⑨ ヘルプの操作方法 】

- (1) 右上の【?】-【ヘルプ】をクリックします。
- (2) 【この記事の内容】の下に配置されているリンクをクリックするか、または検索ボックスにキーワードを入力し、虫眼鏡のアイコンをクリックします。



【⑩ 校友会のスケジュールを個人用の予定表に表示する方法】

(1) 左の他の予定表を右クリックし、「予定表を開く」をクリックする。



(2) 「予定表の開く」の画面で、ディレクトリーのところに a-cal-alumni@rissho-univ.jp を入力し、OKをクリックする。



(3) ディレクトリーに「立正大学校友会」の表示を確認してください。



(4) 左の他の予定表内に立正大学校友会が表示されてカレンダーに反映されます。



【※生涯メールログイン変更時 注意事項】

- ◆ 立正大学生涯メールサービス手続完了のお知らせに
ユーザーID (メールアドレス)
仮パスワード
を表記しておりますが、**パスワード変更を行う場合のユーザーID (メールアドレス) は学籍番号のみ入力**して下さい。
- ◆ また、仮パスワードに、ドット (.) やアンダーバ (_) が含まれている場合は、重なって見える場合がございますので、ログイン時に確認していただきますようお願い申し上げます。

平成27年度「校友の集い」ホームカミングデーin橘花祭開催について

【1】開催趣旨

- ◆ 卒業生一同が品川キャンパスで集える機会を持つことで、世代をまたぐ形の懇親・懇談を可能とする。
- ◆ 「校友の集い」を学生の集う大学祭(「橘花祭」)期間中に開催し、卒業生と学生との交流を促すことによって、在校生の帰属意識を高めさせることを模索する。
- ◆ 同窓会事務局長連絡会議を当日開催し、全国からの同窓生の参加を促し、校友活動の活性化を図る。
- ◆ 学生、卒業生と一緒に取り組める企画を模索し、「橘花祭」を盛り立てる。
- ◆ 立正大学と同窓会の協力のもと、「校友の集い」に地域企業の参加を促し、現役学生との接点を作る。

【2】開催日について

- ◆ 10月31日(日)に、品川キャンパス「橘花祭」と同時開催

【3】開催内容について

- ◆ 卒業後10・20・30・40・50年の卒業生を御招待粗品を用意
- ◆ 名誉教授による記念講演を実施
- ◆ 立正大学公開講座
- ◆ 卒業生の落語家による「立笑(正)点」
- ◆ 品川キャンパスツアーの実施
- ◆ 大学入試相談会の実施
- ◆ 「ホームカミングデーin橘花祭」懇親会
- ◆ 懇親会場における在学生によるアトラクション
- ◆ 立正大学の歴史のパネル展示
- ◆ 古書資料館見学ツアー
- ◆ 「立正マルシェ」として同窓会、大崎・五反田商店街及び周辺企業参加による物販・展示・相談コーナーならびに東北復興支援のための地元グルメブースの設置
- ◆ 立正大学出身の在職教員の方々と、教員職を目指す現役学生・卒業生との懇談会(教職教育センターの協力による)

- ◆ OB・OG先輩を囲む会
- ◆ 法学部卒業生との異業種交流会
- ◆ 来場者用託児施設の設置
- ◆ 同窓会事務局長連絡会

【4】タイムスケジュール

10月31日(日)

- 午前 ◆ 同窓会事務局長連絡会議
◆ 名誉教授講演会
◆ 在職教員懇談会
- 午後 ◆ 「校友の集い」記念懇親会
◆ 「立笑(正)点」
◆ 立正大学公開講座
- 終日 ◆ 立正マルシェ
◆ 立正大学紹介コーナー
◆ 古書資料館見学ツアー

【5】参加予定人数

- ◆ 同窓会事務局長：約100名
- ◆ 名誉教授・その他卒業生・近隣住民：未確定



高村弘毅名誉教授記念講演会



学生広場のにぎわい

※写真は平成26年度のものです。



平成27年度

大学同窓会定期総会 校友会主催講演会を開催

平成27年6月27日(土)にホテルグランテラス富山に於いて、『平成27年度立正大学同窓会定期総会』が開催されました。当日は、校友会主催による講演会を、飯田肇氏(富山県立カルデラ砂防博物館学芸課長)を講師にお迎えし、『館山の自然の魅力～雪の壁から氷河まで～』と題して講演していただきました。また、卒業生同志の交流を図る場として、懇親会を開催いたしました。講演会の詳細は次号(10月1日発行号)でお伝えいたします。

平成27年度 大学同窓会事務局長連絡会開催報告



5月9日(土)に品川キャンパス第7会議室にて、平成27年度立正大学同窓会事務局長連絡会を開催しました。

当日は、各県支部の事務局長の方にご参加頂き、平成27年度のホームカミングデー開催に向けた、同窓会としての取組について活発な意見交換が行われました。

戦後70年物故者法要報告

立正大学同窓会主催

「戦後70年立正大学物故者追善法要」を行いました

6月15日(月・大学創立記念日)に品川キャンパス532教室にて立正大学同窓会主催による「戦後70年立正大学物故者追善法要」を行いました。

法要の詳細は、次号(10月1日発行号)でお伝えいたします。

同窓会支部総会開催報告

【福井県支部】

- ◆ 支部長：森 恵司氏(S47仏宗卒)
- ◆ 5月16日(土) ◆ 福井市 ホテルリバージュアケボノ
- ◆ 講演会：「防災について」中村勘太郎氏(永平寺町町会議員・永平寺町消防本部消防長)

【埼玉県支部】

- ◆ 支部長：市川 幹氏(S38経済卒)
- ◆ 5月17日(日)
- ◆ さいたま市 さいたま市民会館おおみや
- ◆ 講演会：「大宮の歴史」東原 清氏(本学文学部地理学科卒業)



【福岡県支部】

- ◆ 支部長：二宮 実氏(S47文地卒)
- ◆ 5月24日(日)
- ◆ 福岡市 ホテルセントラーザ博多
- ◆ 講演会：「あらためて建学の精神に自己を照らしてみよう」渡辺和弘氏(福岡県布教師会長・浄泉寺住職)



【富山県支部】

- ◆ 支部長：山本充彦氏(S51仏宗卒)
- ◆ 60周年記念総会 ◆ 5月30日(土)
- ◆ 富山市 ホテルグランテラス富山



【千葉県支部】

- ◆ 支部長：二宮將泰氏(S31文史卒)
- ◆ 5月31日(日) ◆ 市川市 市川グランドホテル

【滋賀県支部】

- ◆ 支部長：福山賢修氏(S42仏宗卒)
- ◆ 6月6日(土) ◆ 大津市 琵琶湖ホテル
- ◆ 研修会：比叡山横川定光院散策とご開帳

【静岡県支部】

- ◆ 支部長：石上良秀氏(S47仏宗卒)
- ◆ 6月13日(土) ◆ 静岡市 茄子の花「無庵」
- ◆ 講演会：「犯罪は予測できる」小宮信夫氏(立正大学文学部教授)

【宮城県支部】

- ◆ 支部長：星 紀之氏(S41経済卒)
- ◆ 6月20日(土) ◆ 仙台市 メルパルク仙台
- ◆ 橋会保護者懇談会との合同開催
- ◆ 講演会：浅野 不二男氏(日本郵便株式会社 仙台北郵便局長・本学経済学部卒業)

【神奈川県支部】

- ◆ 支部長：小櫃健一氏(S31修社修了)

平成27年度 大学同窓会代議員会開催報告



5月16日(土)に品川キャンパス第5会議室にて平成27年度第1回立正大学同窓会代議員会を開催しました。

当日、各県支部代議員および学部代議員の方にご参加頂き、平成26年度事業報告案、収支決算報告案、平成27年度事業計画案、収支予算案について審議がなされ、承認されました。その他に多くの意見が出され活発な意見交換の場となりました。

平成27年度 立正大学同窓会定期総会・オプションツアー開催報告

6月27日(土)に富山県にあるホテルグランテラス富山にて、平成27年度立正大学同窓会定期総会・懇親会を開催しました。また翌日の28日(日)には、オプションツアーとして「立山・黒部アルペンルートのうち立山室堂周辺散策」を開催しました。開催報告の詳細は、次号(10月1日発行号)でお伝えいたします。

- ◆ 6月20日(土) ◆ 横浜市磯子区 パレド・バルブ
- 【山梨県支部】

- ◆ 支部長：山田 厚氏(S50文史卒)
- ◆ 6月20日(土) ◆ 甲府市 山梨県立図書館多目的ホール
- ◆ 講演会：「いま、石橋湛山に学ぶ」浅川 保氏(山梨平和ミュージアム石橋湛山記念館勤務)
- ◆ 山梨県企画県民部キャンパスネットやまなし連携講座、山梨ことぶき王勸学院、山梨県立博物館協会共催

【栃木県支部】

- ◆ 支部長：大川清孝氏(S42仏宗卒)
- ◆ 6月28日(日) ◆ 宇都宮市 宇都宮東部ホテルグランデ

【東京都・経済学部同窓会合同】

- ◆ 支部長：手嶋真人氏(S36経済卒)・学部長：三澤金一郎氏(S38経済卒)
- ◆ 5月23日(土) 濱田屋屋形船集合
- ◆ 屋形船での合同総会・懇親会

同窓会研修会開催報告

【神奈川県(女子部会)】

- ◆ 平成27年度女子部会新企画「日蓮聖人御一代記」講座<第1回=ご誕生~清澄山>
- ◆ 4月11日(土) ◆ 横浜市 パレドバルブ

同窓会学部総会開催報告

【経営学部】

- ◆ 学部長：吉浜邦夫氏(S47経営卒)
- ◆ 5月16日(土) ◆ 品川キャンパス511教室

【文学部】

- ◆ 学部長：西岡勇治氏(S55修士社会修了)
- ◆ 5月23日(土)
- ◆ 品川キャンパス第8会議室：教職員ラウンジ

【社会福祉学部】

- ◆ 学部長：黒米聖氏(H18人福卒)
- ◆ 6月14日(日) ◆ 熊谷キャンパス1301教室

【仏教学部】

- ◆ 学部長：北原輝信氏(S61仏宗卒)
- ◆ 6月26日(金) ◆ 富山市 ホテルグランテラス富山
- ◆ 講演会：高野誠鮮氏(日蓮宗本證山妙法寺第41世住職・立正大学客員教授)

平成26年度立正大学同窓会事業報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業	内容
①定期総会	6月28日(土) 熊谷キャンパスで開催 第1部：校友会主催講演会 第2部：同窓会定期総会、短期大学部・保育専門学校同窓会総会同時開催 第3部：合同懇親会
②代議員会	5月17日(土) 品川キャンパス 平成26年度事業報告案・収支決算報告案・監査報告、平成26年度事業計画案、収支予算案、平成26年度同窓会本部役員一覧、ホームカミングデー in 橋花祭について
③理事会	第1回(4月19日) 役員交代の件、事業報告案、決算報告案、事業計画案、予算案、会議運営について 第2回(7月19日) 定期総会開催報告、平成27年度定期総会開催について、支部総会開催一覧報告、ホームカミングデー開催について 第3回(10月18日) ホームカミングデーでの同窓会地方物産展について、支部活性化について 第4回(2月28日) 中間監査報告、平成26年度事業計画案、予算案、学部・支部総会開催報告、長野県支部50周年開催に関する依頼について、戦後70年立正大学物故者法要開催について
④監査	第1回(4月11日) 平成25年度決算監査 第2回(11月21日) 平成26年度中間監査
⑤総務委員会	第1回(5月7日) 第2回(9月20日) 第3回(2月28日)
⑥財務委員会	第1回(4月11日) 第2回(11月21日)
⑦広報委員会	第1回(4月19日)
⑧事業予算合同会議	第1回(1月27日) 平成27年度事業計画案・収支予算案策定
⑨事務局長会議	第1回(5月10日) ホームカミングデー開催について 第2回(11月2日) ホームカミングデーにおける同窓会役員配置等について打合せ・ホームカミングデー参加
講演会	6月28日(土) 熊谷キャンパス(平成26年度定期総会と合同開催) 演題：ローマ法王に米を食べさせた男―過疎の村から世界のマーケットへ― 講師：高野 誠鮮氏(立正大学客員教授・日蓮宗本證山妙法寺第41世住職)
広報活動	立正大学学園新聞の発送および、校友会報「たちばな」の製作と発送(年4回) 校友会ホームページ・facebookによるインターネット広報
卒業生への広報活動	①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学科学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス
構成団体活動	〔参加支部・出展品〕 ◆青森県：南部煎餅 ◆岩手県：盛岡冷麺 ◆宮城県：利府梨 ◆群馬県：チャリティーTシャツ ◆埼玉県：かりかりピーナッツ ◆千葉県：落花生 ◆新潟県：笹団子 ◆山梨県：山梨県限定各種菓子類 ◆岐阜県：富有柿 ◆奈良県：蚊帳ふきん ◆広島県：もみじ饅頭 ◆香川県：曾保みかん・小豆島素麺 ◆鳥根県：しまねっこグッツ ◆熊本県：くまもんグッツ ◆沖縄県：ちんすこう ◆福島県：物産展出品品はないが、学生支援として寄付金 ◇物産展売上金と福島県の寄付金を併せた110,390円を在校生奨学金として大学へ寄付 〔学部同窓会〕 ◆文学部同窓会：防犯グッズ販売 ◆法学部同窓会：卒業生異業種交流会(卒業生と在校生の交流会) ホームカミングデー in 橋花祭 ホームカミングデーにおける校友会との協働連携開催・運営協力 学生支援 校友会との協働連携事業による学生支援(学園祭・課外活動・入学卒業記念品 他) 経費一部を同窓会が負担 校友委員会 校友会・校友委員会の運営協働連携参加 学部同窓会・同窓会支部総会への協働連携開催・運営協力 橋会保護者懇談会への協働連携開催・運営協力
在校生支援(大学・学園への賛助を含む)	記念事業賛助 大学開校140周年記念事業賛助 課外活動顕彰助成 在校生支援として課外活動顕彰助成(団体：4組・個人：10名) 奨学金への寄付 その他在校生支援として奨学金等への寄付
会員情報管理	収集・運営・管理(協働連携利用) ・新卒会員情報・既卒会員更新情報の大学・校友会・同窓会協働連携利用 ・学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および支部・学部同窓会事業・活動への会員データ提供、他
その他	同窓会運営 ・代議員制による同窓会運営 ・支部・学部同窓会助成 ・支部・学部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 ・会員親睦・交流・活動への支援協力 ・休会支部活動再開支援 ・支部同窓会地域連合制の検討

平成26年度立正大学同窓会収支決算報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
構成団体助成費	24,500,000	24,500,000	0
預金利息金	100,000	65,028	34,972
積立金取崩収入	10,000,000	10,000,000	0
雑収入・寄付金	100,000	80,000	20,000
事業収入	0	110,390	▲110,390
前年度繰越金	7,178,721	7,178,721	0
収入合計	41,878,721	41,934,139	▲55,418

支出の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
人件費(講師講演料)	456,000	317,100	138,900
旅費交通費	5,660,800	4,312,766	1,348,034
会議会合費	1,500,000	491,110	1,008,890
通信運搬費	320,000	623,208	▲303,208
印刷製本費	300,000	328,272	▲28,272
委託費	907,200	907,200	0
手数料報酬	212,200	200,356	11,844
賃借料	97,290	97,290	0
事業費	100,000	170,000	▲70,000
	10,000,000	10,110,390	▲110,390
	7,040,000	7,040,000	0
	1,289,600	612,100	677,500
事業費小計	28,568,400	27,701,720	866,680
消耗品費	80,000	87,806	▲7,806
雑費	50,000	21,117	28,883
積立金	2,000,000	2,000,000	0
予備費	1,726,831	0	1,726,831
次年度繰越金	0	4,846,194	▲4,846,194
支出合計	41,878,721	41,934,139	▲55,418

◆積立金

科目	平成26年3月31日現在額	平成27年3月31日現在額	増減
同窓会基金	275,717,676	275,717,676	0
橋積立金	8,000,000	0	▲8,000,000
合計	283,717,676	275,717,676	▲8,000,000

平成27年度立正大学同窓会事業計画書

(期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業	内容
①定期総会	6月27日(土)～28日(日) 富山県富山市ホテルグランテラス富山 第1部：校友会主催講演会 第2部：同窓会定期総会 第3部：懇親会 28日：オプションツアー(立山黒部散策)
②代議員会	5月16日(土)品川キャンパス 平成26年度事業報告案・収支決算報告案・監査報告、 平成27年度事業計画案・収支予算案、 戦後70年大学物故者法要について、 ホームカミングデー in 橘花祭について
③理事会	第1回：4月18日(土) 第2回：7月18日(土) 第3回：10月17日 第4回：平成28年2月27日(土)
④監査	第1回：4月10日(金) 平成26年度決算監査 第2回：11月下旬 平成27年度中間監査
⑤総務委員会	適時
⑥財務委員会	適時
⑦広報委員会	適時
⑧事業予算合同会議	第1回：平成28年1月26日(火) 平成28年度事業計画案・収支予算案策定
⑨事務局長連絡会	第1回：5月9日(土) 第2回：10月31日(土) *ホームカミングデー開催日
講演会	6月27日(土) 富山県富山市ホテル グランテラス富山 (平成27年度定期 総会と合同開催) 演題：立山の自然の魅力～雪の壁から氷河まで～ 講師：飯田 肇氏 (富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長)
広報活動	校友会報「たちばな」の編集作業(年4回) *校友会との協働連携事業 *学園新聞制作費は学園負担、発送費の一部は校友 会負担、校友会報「たちばな」の制作費・発送費 は全額校友会が負担 校友会ホームページ・ facebookによるインターネット 広報 卒業生への 広報活動 ①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部 学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス
構成団体 活動	ホームカミングデー in 橘花祭 ホームカミングデー協働連携開催・運営協力 校友会 校友会の運営協力協働連携参加 学部同窓会・ 支部同窓会総会 学部同窓会・同窓会支部総会開催協力ならびに 講演会講師派遣への協働連携開催・運営協力 橋会保護者懇談会 橋会保護者懇談会への協働連携開催・運営協力
在校生支援 (大学・学園への賛助 含む)	大学・学園への賛助 学生支援 在校生支援(課外活動顕彰助成) その他 その他学生支援
会員情報 管理	収集・運営・ 管理(協働連 携利用) ・個人情報の保護に関する法律および立正大学個人 情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・ 管理・運用 ・新卒会員情報・既卒会員更新情報の大学・校友会・ 同窓会協働連携利用・学園新聞・校友会報「たちば な」の発送および支部 ・学部同窓会事業・活動への会員データ提供、他
その他	・代議員制による同窓会運営 ・支部・学部同窓会助成 ・支部・学部同窓会の総会・研修会 ・各種行事等の開催支援協力 ・会員親睦・交流・活動への支援協力 ・休会支部活動再開支援 ・支部同窓会地域連合制の検討 (四国をモデルケースに活性化力を入れる) ・立正大学同窓会細則等の改正

平成27年度立正大学同窓会収支予算書

(期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減
構成団体助成費	24,500,000	24,500,000	0
預金利息金	50,000	100,000	▲50,000
積立金取崩収入	6,600,000	10,000,000	▲3,400,000
雑収入・寄付金	100,000	100,000	0
前年度繰越金	4,846,194	7,178,721	▲2,332,527
収入合計	36,096,194	41,878,721	▲5,782,527

支出の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減
人件費	456,000	456,000	0
旅費交通費	1,935,564	1,223,000	712,564
	4,039,820	1,778,000	2,261,820
	3,435,530	1,320,800	2,114,730
	810,000		
809,000	574,024		
90,840			
250,000	250,000	0	
160,000	160,000	0	
120,000	120,000	0	
旅費交通費小計	11,323,938	5,660,800	5,663,138

会議会合費	800,000	1,500,000	▲506,000
	30,000		
	24,000		
	40,000		
100,000			
会議会合費小計	994,000	1,500,000	▲506,000

通信運搬費	500,000	320,000	180,000
印刷製本費	300,000	300,000	0
委託費	907,200	907,200	0
25,920	25,920	0	
手数料報酬	2,448	186,280	▲13,402
870			
2,160			
162,000			
5,400			
手数料報酬小計	198,798	212,200	▲13,402

賃借料	77,760	77,760	0
0	19,530	▲19,530	
500,000	0	500,000	
200,000	0	200,000	
賃借料小計	777,760	97,290	680,470

事業費	150,000	100,000	50,000
50,000	10,000,000	▲9,950,000	
12,251,950	10,138,800	2,113,150	
7,040,000	7,040,000	0	
1,029,600	1,289,600	▲260,000	
事業費小計	20,521,550	28,568,400	▲8,046,850
消耗品費	50,000	80,000	▲30,000
雑費	50,000	50,000	0
積立金(橋積立金)	0	2,000,000	▲2,000,000
予備費	16,948	1,726,831	▲1,709,883
支出合計	36,096,194	41,878,721	▲5,782,527

◆積立金

科目	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在	差異(増加額)
同窓会基金	269,117,676	275,717,676	▲6,600,000
橋積立金	0	0	0
合計	269,117,676	275,717,676	▲6,600,000

平成26年度立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会事業報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業	内容
会議	役員会 定例会議等(8回)
	校友会 校友会会議(会長出席4回)
	打合せ 会長との事前打合せ等
講演会	立正大学校友会 主催講演会への 協力 「高野誠鮮氏」講演
構成団体 活動	定期総会 及び懇親会 総会及び懇親会の準備・実施
広報活動	校友会報への 掲載 ・総会・懇親会・研修会の広報 ・校友会主催記念講演会の広報
構成団体 活動	定期総会 及び懇親会 総会及び懇親会の準備・実施
	研修会準備 「懐かしい友と語り明かそう同窓会」準備
会員情報 管理	同窓生住所管理 同窓生住所変更受付

平成26年度立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会収支報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
構成団体助成費	1,200,000	1,200,000	0
預金利息金	893	875	18
積立金取崩収入	0	0	0
雑収入・寄付金	0	138,880	▲138,880
前年度繰越金	0	0	0
事業収入	4,099,982	4,099,982	0
収入合計	5,300,875	5,439,737	138,862

支出の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
人件費(講師講演料)	0	0	0
会議会合費	250,000	250,000	0
旅費交通費	400,000	336,000	64,000
通信運搬費	200,000	2,916	197,084
印刷製本費	300,000	165,834	134,166
委託費	50,000	50,000	0
手数料報酬	10,000	2,464	7,536
雑給	100,000	0	100,000
賃借料	0	0	0
事業費	1,950,000	1,76,740	1,773,260
小計	3,260,000	983,954	2,276,046
消耗品費	100,000	504	99,496
雑費	50,000	26,300	23,700
積立金	0	0	0
予備費	500,000	16,296	483,704
繰越金	1,390,875	4,412,683	▲3,021,808
支出合計	5,300,875	5,439,737	▲138,862

*総会報告の詳細は、次号(10月1日発行号)でお伝えいたします。

平成27年度立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会事業計画案

(期間：平成27年4月1日～平成27年6月30日)

事業	内容
会議	役員会 6月末日まで(5回程度)
	校友会 砂川会長出席
	打合せ会議 校友課との打合せ等
講演会	記念講演会 ・総会・懇親会の広報 ・記念講演会の広報
構成団体 活動	定期総会 及び懇親会 総会及び懇親会の準備・実施
	研修会 短期大学部・保育専門学校同窓会役員研修
会員情報 管理	同窓生住所管理 同窓生住所変更受付

平成27年度立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会収支予算案

(期間：平成27年4月1日～平成27年6月30日)

収入の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度決算額	増減
構成団体助成費	1,200,000	1,200,000	0
預金利息金	794	893	▲99
積立金取崩収入	0	0	0
雑収入・寄付金	0	0	0
前年度繰越金	4,412,683	4,099,982	
収入合計	5,613,477	5,300,875	312,602

支出の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度決算額	増減
人件費	0	0	0
旅費交通費	215,000	400,000	▲185,000
会議会合費	110,000	250,000	▲140,000
小計	325,000	650,000	▲325,000
通信運搬費	50,000	200,000	▲150,000
	50,000	200,000	▲150,000
	100,000	300,000	▲200,000
小計	100,000	300,000	▲200,000
委託費	50,000	50,000	0
小計	50,000	50,000	0
手数料報酬	10,000	10,000	0
雑給	0	100,000	▲100,000
賃借料			0
事業費	400,000	1,950,000	▲1,550,000
	600,000		600,000
小計	1,010,000	2,060,000	▲1,050,000
消耗品費	50,000	100,000	▲50,000
雑費	50,000	50,000	0
積立金	0	0	0
予備費	100,000	500,000	▲400,000
寄付金	3,878,477	1,390,875	2,487,602
支出合計	5,613,477	5,300,875	312,602

昭和53年「秋期年末闘争」と郵政会



立正大学郵政会渉外部長 吉岡 茂夫

古い話で恐縮だが、昭和53年の秋、某労働組合は「年賀郵便物の処理は全面的に拒否せよ」との指令を発した。これに対し、郵政省は年末年始の最繁忙期に入った12月15日、当面の郵便業務の運行に関し状況を明らかにし「年賀郵便物をはじめ国民・利用者に極力迷惑をかけないよう省を挙げて全力を傾ける」との方針を示した。

郵便業務は当時、小包郵便物の引き受けがピークとなっており、12月15日からは年賀郵便の引き受けが始まり年末年始の最繁忙期に入ったのである。郵政省は年末年始期の郵便業務の正常運行確保のため、挙省一致の態勢で万全を期してきた。

ところが労組は“反マル生闘争”の名の下に11月16日以降、年末闘争に入り時間外労働を拒否するほか24日頃から東京管内、12月に入ってからは全国各地で“業務規制”と称し、例えば①集配担当者が配達区分済みの郵便物を抜き出す際、列を作って前の担当者が区分棚から抜き出しを終えるのを待つ②誤区分検査と称し1日中、郵便物を眺めているだけで配達業務に出ず大区分や組立作業もしない③出勤予定の職員が顔を出さない④郵便物の取り集めに出ているながら僅かの郵便物だけ集め帰局するなど殊更に作業効率を低下させ、業務を混乱させるなどの法外な闘争を展開していた。

このため滞留郵便物は、規制闘争の開始と同時に増加し始め12月11日には1,000万通を突破、国民・利用者にも多大な迷惑をかける状況となった。世に言われる“ごうさんとう”である。

過去、年末闘争の終結が最も遅れたのは「特定郵便局の局舎改善融資問題解決」などの要求を掲げ三六協定拒否戦術を行った昭和58年で、闘争は12月26日になり終結した。

労組が処分の軽減、業績回復などを求め“面従腹背”で徹底した業務規制闘争を展開した48年には、12月10日に史上最高の滞留郵便物数となり2,300万通（小包は17日に42万個）を記録した。同年は12月13日に闘争が終結したにも拘らず、業務運行の回復に日数を要したため年賀郵便物の処理が遅れ困難を来したが、一部の郵便物を除き規定結束（郵便物を規定通りに束ねること）を確保することができた。

当期の年末年始郵便業務は非常に厳しい情勢に置かれ、対策として非常勤職員の雇用や立正大学郵政会の学生による業務応援、東京郵政局・本省職員（東京管内）による郵便局応援などで郵便物の遅れを最小限にとどめる努力をしてきたが、年賀郵便物の取り扱いに伴い更に非常勤職員を雇用するなど要員の増強を図り、できるだけ国民・利用者に迷惑をかけないよう省を挙げて努力した。

ここで特記すべき事柄は、何といっても立正大学側の理解と郵政会の正常業務運行への深い思いがあったこと

だ。班構成は滞留状況にもよるが、毎日50～60人程度でありピーク時は100人以上が業務に当たっていた。宿泊施設も国立市の中央郵政研修所（主に都下の郵便局応援）や東京国際郵便局（都区内）の講堂で寝起きし、郵政局郵務部の指導で業務応援に頑張った。主たる仕事は配達業務であり、期間も11月から1月末頃の長期に及んだ。

郵政会OBとして当時は振り返ると、誇りに思うとともに風化させてはならないとの念に駆られ記すことにした。

昭和53年は明るいニュースもあった。創立20周年の節目を迎えた郵政会の記念式典が、郵政省など関係方面から来賓やOB、現役、郵政会員など多数が出席し港区三田の東京地方保険局で実施され「永久に羽ばたかん、新たな誓いを以て」のナレーションで始まり会旗が入場、京極重次郎会長は「これまで紆余曲折はあったものの、時々国会議員の力添えや執行部の適切な対処方法で乗り越え今日がある。深く感謝する」と挨拶した。38年前の心に残るエピソードだ。

さて、郵政グループでは現在、平成27年度における日本郵政と金融2社の親子上場の実現を目指し動いている。郵貯・簡保の限度額引き上げやユニバーサルサービスコストの担保、新規業務認可、地方創生と郵便局の活用など重要課題とともに、業務改善やマネジメントのあり方など解決しなければならない社内の課題も山積しており“正念場の年”という状況を呈している。

とりわけ、昨年末に行われた自民党の衆院選公約に初めて入った限度額の見直しについては、柘植芳文参院議員を中心とする郵便局の新たな利活用を推進する議員連盟（郵活連）や郵政事業に関する特命委員会設置、公明党の郵政問題議員懇話会立ち上げなど活発な動きにより国会で一定の解決を見出すべく政治情勢は深まってきている。

その一方で、限度額見直しを民業圧迫と反対する全国銀行協会などが上場に乗し郵貯・簡保資金を乗っ取ろうとする外資“秃鷹ファンド”に代表される新自由主義勢力が虎視眈々と狙っていることも忘れてはならないだろう。

まさに郵政グループには、改正郵政民営化法に則り“公共性”を発揮する国家・国民のための郵政事業への再構築とそれに向けた会社づくり、郵便局づくり全般が焦眉の課題として問われているのである。

こうした中で今後の郵政会を展望すれば、校友会の構成員としての活動を基本に立正大学入学への積極的PRや学生会員の確保、公務員受験講座・郵政講座の復活、研究活動、人材育成、機関紙「あらたま」による情報共有化、郵政党内紙「通信文化新報」への記事提供などを通しOBを含めた組織強化を図っていくことが重要になってくる。その地道な積み重ねこそが、将来の郵政会を形作る“礎”となると信じている。立正大学と郵政会のさらなる発展を願って筆を置く。（昭和48年卒）

平成26年度立正大学郵政会活動報告

（期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日）

事業	内容
会議	4月1日 立正大学入学式 5月17日～18日 全国郵便局長総会 6月21日 役員会、地方支部代表者会議、総会 6月28日 立正大学同窓会総会 6月28日 立正大学校友会講演会 7月16日 立正大学校友会委員会 3月24日 立正大学卒業式
講演会	3月28日 活性化及び交流促進ゆうぽーと 講演会：勝野成治氏（日本郵政株式会社専務執行役） 参加者：50名
校友の集い	11月2日 品川キャンパス 学園祭臨時出張所開設運営支援
広報活動	学園新聞 郵政情報誌取材記事記載 ・学園新聞記事提供（年4回） ・郵政情報誌からの取材及び記事提供 ・郵政会広報「あらたま」発行

平成27年度立正大学郵政会事業計画

（期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日）

事業	内容
会議	総会・各種会議 6月上旬 定期総会 6月・10月上旬 役員会議 6月上旬 地方支部代表者会議 10月中旬 隣接地方支部合同会議
卒業生 在校生支援	活性化及び交流促進 ・地方支部における活発な会議の運営と活性化 ・会員相互の研鑽、交流、親睦、活動の支援 ・各支部相互連携強化 ・講演、研修会開催 ・郵政グループ各社との情報交換
大学等 支援	大学への支援、協力 校友会参加、協力 ・大学祭への参加、協力、助成 ・ホームカミングデーへの参加、協力、助成 ・全国総会参加支援、代議員会参加支援
広報告知 活動	記事提供 会報発行 ・学園新聞、校友会報、同窓会報への記事提供 ・郵政関係誌への記事掲載依頼、協力（随時） ・年2回発行（10月・1月）

平成26年度立正大学郵政会収支決算書

（期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日）

収入の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0
会費	300,000	564,000	▲264,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	30,000	▲30,000
繰越金	55,723	55,723	0
預金利息	50	74	▲24
収入合計	1,355,773	1,649,797	▲294,024

支出の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増減
旅費交通費	550,000	438,518	111,482
会議会合費	200,000	302,474	▲102,474
通信運搬費	140,000	155,440	▲15,440
印刷製本費	20,000	68,749	▲48,749
事業費	100,000	118,320	▲18,320
	200,000	392,000	▲192,000
	30,000	43,770	▲13,770
事業費小計	330,000	554,090	▲224,090
消耗品費	100,000	88,992	11,008
雑費	15,773	38,666	▲22,893
予備費	0	2,868	▲2,868
支出合計	1,355,773	1,649,797	▲294,024

平成27年度立正大学郵政会収支予算

（期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日）

収入の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減
構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0
会費	600,000	300,000	300,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	0	0
繰越金	2,868	55,723	▲52,855
預金利息	70	50	20
収入合計	1,602,938	1,355,773	247,165

支出の部

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減
旅費交通費	600,000	550,000	50,000
会議会合費	240,000	200,000	40,000
通信運搬費	100,000	140,000	▲40,000
印刷製本費	70,000	20,000	50,000
事業費	100,000	100,000	0
	300,000	200,000	100,000
	60,000	30,000	30,000
事業費小計	460,000	330,000	130,000
消耗品費	100,000	100,000	0
雑費	30,070	15,773	14,297
予備費	2,868	0	2,868
支出合計	1,602,938	1,355,773	247,165

平成27年度 立正大学橋会定期総会開催報告



平成27年立正大学橋会総会は、立正大学品川キャンパス411教室で開催されました。

総会は、下津常任理事の司会進行のもと出口会長より立正大学の建学の精神に基づき心身共に健全な学生の育成を図るため、学びの支援として各地で保護者懇談会を開催、また、さまざまな分野で活躍し、立正大学の名誉を高めた団体、個人に対し橋奨励賞を顕彰している事を紹介する挨拶がありました。続いて、立正大学学園理事長古河良昭理事長並びに高橋堯英副学長のご挨拶の後、恒例の橋会奨励賞授与式が行なわれました。今回の橋会奨励賞の各賞は右の通りです。



受賞の山田さん 努力賞の菅家さん 選考委員特別賞の笠原さん 受賞者集合写真 懇談会風景 出口前会長による乾杯のご発声 佐々木新会長による挨拶 高橋副学長による挨拶 古河学園理事長による挨拶 受付風景

ご挨拶



平成27年5月23日の橋会定期総会に於いて出口幸祥前会長の後を引き継ぎ、会長に推挙頂き、就任致しました佐々木盛徳です。

個人的なことではありますが、私の父は立正大学卒で、私は立正高校、立正大学を卒業し、そして現在も子供達が立正大学にお世話になっております。何かの縁なのか、親子3代お世話になっております。2年前に、縁がありまして、橋会の役員となり、今般橋会の会長に就任させて頂きました。縁というもの不思議なものですが、この縁を大切に、甚だ未熟者ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

橋会は保護者と大学職員の方々と密接に連携しつつ、学生が有意義な大学生活を過ごせるように支援する事を目的として活動しております。その一環として毎年全国各地で「保護者懇談会」を開催しております。遠方に居られ、大学に中々お越しになることが難しい保護者の皆様に、先生方による現在の大学の現況やキャリアサポートセンター協力のもと「父母のための就職講座」を開催し、現状における就職活動や、保護者が学生に対しての接し方などをアドバイスして下さいます。

全体会のあと、大学教職員による個人面接があり、毎年保護者の元へ送られてくる成績通知表だけでは判らない個々の学生生活の現況をお伝えしております。個人面接中の控室では、保護者同士でお茶を飲みながら親睦を深めて頂いております。既に、保護者の皆様のお手元に保護者懇談会の案内状が送付されておりますが、今年度は、5月から11月にかけて保護者懇談会を開催致します。会場は、福岡(5月31日)・熊谷キャンパス(6月14日)・仙台(6月20日)・大阪(7月5日)・旭川(8月29日)・千葉(9月6日)・長岡(9月26日)・横浜(10月4日)・静岡(10

- ◆ **優秀賞** 山田千晶 (第31回全国年賀はがきコンクール 全書会会長賞)
- ◆ **努力賞** 菅家優介 (現代写真研究部) (第9回富士登山「きすな」コンテスト審査員特別賞)
- ◆ **選考委員特別賞** 笠原舞華 (立正大学BBS会)

さて、平成27年度定期総会は、6件の議案が提案されました。平成26年度の事業報告とそれに関する決算報告書、会計監査ならびに平成27年度の事業計画、それに伴う予算案の説明がなされ、特に平成27年度の新規事業計画では、橋会が大学の構成団体であり、橋会として在学生に還元できる事として、品川・熊谷キャンパス内の未設置分の洗浄便座を寄付するため委託費の増額を行うことが提案され、全会一致で承認されました。続いて、役員の任期満了に伴う改選の件についても同様に承認されました。

立正大学橋会長 佐々木 盛徳

月11日)・品川キャンパス(11月8日)の10会場で開催いたします。毎年開催される品川と熊谷キャンパス以外の地方での懇談会場所は、限りがあり、保護者の皆様都合に合わせての開催では無く、ご不便をお掛けしておりますが、是非とも学生の今を知る機会にもなりますので、沢山の保護者の皆様のご参加をお待ちしております。会場には、私達橋会役員も必ず同席して居りますので、気軽に話しかけて下さい。

橋会は、全保護者で構成されており、会長・副会長・常任理事・理事・評議員と1万人超えの会員から出来ている組織です。基本的に役員が中心となって活動しておりますが、私達役員だけでは回らない事も多々あり、保護者懇談会や総会の場合では、各地に居られる評議員の皆様の協力を得て成り立っております。しかし、全ての会場で会員一人一人の意見を汲み取ってはおりません。無論全ての意見を汲み取る事も不可能ですが、保護者の皆様が主役の組織でもありますので、是非とも皆様の意見を頂戴したいと存じます。

橋会として本年度の総会で承認されました、品川と熊谷の両キャンパス内の学生トイレ全てに洗浄機能付き便座の設置を行います。この様に、保護者の組織である橋会も大学に協力し、学生の為になる事業も行ってまいります。しかし保護者の皆様からすれば、他にも気になる点が多々あるかと存じます。組織の性格上、一部の学生のみだけに関する事業は行えませんが、保護者の皆様からご意見を頂戴できれば、気付かなかった新たな事業を展開することも可能で有り、学生の大学生活に潤いを持たせる事も出来るはずで。ご意見などがあれば、橋会の窓口である大学の校友課に相談頂くことも可能です。

是非とも保護者の皆様、学生の為にも橋会へのご参加ご協力をお願い致します。私からの新任の挨拶に代えさせて頂きます。



平成27年度 立正大学橋会奨励賞



優秀賞

「優秀賞を受賞して」

山田千晶 (社会福祉学部4年)

この度は、優秀賞という名誉ある賞を頂き、心より感謝申し上げます。喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。私は、この立正大学橋会奨励賞の募集を書写で応募いたしました。応募したものは、「第31回 全国年賀はがきコンクール」という全国大会の大学生の部で、3位の全書会会長賞を受賞したものでした。

作品で書いた「慶春 初心忘れることなく最大限の努力をして邁進いたします。本年もご指導の程お願い申し上げます。」は、自分の思いとお世話になっている先生への思いを組み合わせました。筆で書くため、下の細字が曲がってしまったり、文字のバランスが曲がってしまったり、文字のバランスが悪かったりとても苦戦しました。1枚書くのに約1時間かかり、納得した作品を仕上げるには、多くの日も必要とし、大学の学年末試験と締切日が同日だったため、勉強との両立がとても大変でした。しかし、4歳から毎年欠かさず全国大会に出品しているため、今年も時間が許す限り練習し、出品しました。

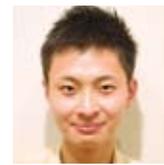
私は、4歳から書写(硬筆・毛筆)を始め、小・中・高とそれぞれ全国日本一を受賞したことがあります。そのため、大学生でも日本一を受賞し、謝辞を読みたいという4歳の頃からの強い思いがあります。全国大会で、日本一を受賞するのはとても難しく、表彰式に行き、日本一の作品を見ては自分の勉強不足を目の当たりにします。

今では、書写教室に通っている幼児から高校生までの子ども達の指導、賞状や行事での看板・表題書きをするともに、資格取得をして、自分の今持っている技術を磨き続けています。

私がここまでするには、数々の困難や挫折がありました。200枚練習しても、入賞できないということもあり、書写をやりたいなく教室に通わない時もありました。そんな時でも書写教室の先生は、私を見捨てず、私の味方でいてくれました。「いつでも練習にきていよう。待っているよ」と電話を頂き、母の言葉を、応援し続けてくれる人がいるということを知りました。私も、教室までの送り迎えを毎日のようにしてくれました。このような周りの人達からも、励みや支えがあったからこそ、今の自分があるのだと感じます。大学生で日本一を受賞し、謝辞を読むことは、教室の先生、家族、友人と私を支えてくださった人達への最高の恩返しだと思います。この恩返しができるよう、今以上に努力していきたいと思っております。

書写で学んだ「継続は力なり」という言葉を信じて、何事にも諦めず、目標をもって挑戦していきたいです。

最後になりましたが、審査にあられた先生方、本当にありがとうございました。



努力賞

「感謝の気持ちを忘れずに」

菅家優介 (経営学部4年)

この度、立正大学橋会において、努力賞を受賞したことを、とても嬉しく思っております。

私は、立正大学に入学してから現代写真部に入り、写真活動を始めました。初めは、写真について何も知らない状況でしたが、先輩方の熱心な指導により、デジタル一眼レフカメラの基礎を学びました。また、年に1回行われる夏の写真合宿では、写真を撮ることの魅力に触れ、そこから本格的に風景写真を撮るようになりました。年に2度行われる学外展では、年々来場者も増え、他大学との交流

も盛んになりつつあります。立正大学に入学していなければ、ここまで充実した写真活動を送っていなかったとつくづく思います。他大学の写真部と比べると、自由な部活環境だからこそ、個々がのびのびと写真を撮れるのだと思います。

私は今後の写真活動における目標が、2つあります。1つ目は、後輩への技術継承です。写真を撮るにあたっての障壁に、「カメラの操作」が挙げられます。基礎的な技術を我々が伝えることにより、写真を撮ることの魅力や楽しさに触れ、自発的に、撮影に行く雰囲気になります。2つ目は、自らの実績作りです。4年目の今年は、3年間行ってきた活動の結果を出す年だと考えています。大きなコンテストや、写真展に積極的に参加し、写真活動を、より目に見える形として残します。

この活動を支えて下さっている両親や大学、仲間への感謝の気持ちを忘れず、今後も自己と現代写真部の成長・発展に精進していきます。



選考委員特別賞

「『BBS』ってご存知ですか?」

笠原舞華 (心理学研究科対人・社会心理学専攻)

BBSという言葉をご存知でしょうか。BBSは、「Big Brothers and Sisters」の略で、法務省が管轄しているアメリカ発祥のボランティア団体です。きっとみなさんは、聞いたことがないと思います。日本におけるBBSは、京都ではじまり、全国に展開され、非行少年や不適応少年のいない、犯罪や非行のない明るい社会を実現するために活動しています。悩める少年少女たちに、その名のとおり兄や姉のような存在として寄り添い、共に悩み、共に学び、共に笑ふことが求められています。活動の場は、全国の保護観察所や家庭裁判所、少年院、学校、また地域の子どもたちを集めて行う活動など、場所も形態もさまざまです。

立正大学BBS会は、昨年度より再発足し、品川区や品川区保護司会と連携しながら、さまざまな活動を行っています。再発足までの道のりは、簡単なものではなく、まず「BBS」の存在を学生に知ってもらうこと、そして「BBS」に興味のある人材を学生の中から見出すこと、その他多くの課題がありました。しかし、今日円滑な組織運営および活動が継続できているのは、多くの支援者の皆様のおかげであり、大変感謝しております。

発足初年度ということもあり、活動は手探りな状態でしたが、品川地域に貢献できる多くの活動が出来ました。中でも、品川区内で行われた「社会を明るくする運動」では、犯罪のない明るい社会を目指すため、多くの会員が品川区長とともに広報活動を行いました。

また、平塚児童センターでは、子どもが楽しく遊べるイベントの運営にも携わりました。子どもたちが、地域で楽しい思い出を作ること、地域への愛着を形成することにも繋がると考えています。このような経験は、地域や人々を大切に思う気持ちを育み、将来その子どもたちの非行を抑制する上で、キープポイントとなります。つまり、私たちの活動は、犯罪を減らすためではなく、犯罪が起こらない社会を作り上げることに、貢献しています。

また、研修として保護司会とともに、水戸刑務所に行ったり、法務省で会員研修を受けたりするなど、普通の学生ができない体験をすることができました。

さて、このように立正大学BBS会は沢山の活動を行ってまいりましたが、独立的な活動体制は、まだ確立できていません。次世代を担う後輩たちには、自分達で考え、自分達で動き、多くの経験をしてもらいたいと思っています。また、この場をお借りしまして、品川区保護司会の皆様、品川区役所の皆様、顧問である心理学部の高橋准教授には、心よりお礼を申し上げます。

平成26年度立正大学橘会事業報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業	内容
会議	定期総会・橘会奨励賞授与式・懇親会 平成26年5月24日(土) 平成25年度事業報告・決算、平成26年度事業計画、予算審議、平成25年度橘会奨励賞授与式、懇親会開催。出席者109名
	正副会長会議 平成26年12月16日(火)、平成27年2月23日(月)、平成27年2月27日(金)
	理事会開催 平成26年5月24日(土)
	会計監査 平成25年度決算監査：平成26年4月9日(水)、平成26年中間監査：平成26年12月16日(火)
	平成26年度橘会奨励賞選考委員会(第19回) 平成26年度奨励会懇親会 平成27年2月27日(金)
講演会	平成27年度2月27日(金) 高橋副学長卓話、キャンパスツアー、懇親会。出席者12名
	「父母のための就職講座」 全12会場保護者懇談会時開催。
広報活動	アルバム撮影・作成 「たちばな」・学園新聞発行 年4回「たちばな」・学園新聞、保護者懇談会開催報告等掲載(4月・7月・10月・1月)
	ホームページ・Facebook 保護者懇談会開催予定表等
保護者支援	郡山会場 6月1日(日)
	熊谷会場 6月15日(日)
	静岡会場 6月22日(日)
	千葉会場 7月6日(日)
	盛岡会場 8月31日(日)
	長野会場 9月7日(日)
	新潟会場 9月27日(日)
	横浜会場 10月5日(日)
	福岡会場 10月12日(日)
	神戸会場 10月18日(土)
広島会場 10月19日(日)	
品川会場 11月9日(日)	
在校生支援	平成25年度橘会奨励賞授与式(第18回) 就職祈願お守り作成 懇談会のしおり作成 平成26年5月24日(土)(定期総会時)
	平成27年2月23日(月) 3年生へ配布 ■新規 保護者懇談会資料、各会場出席者に配布
会員情報管理	個人情報保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用

平成27年度立正大学橘会事業計画書

(期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業	内容
会議	定期総会・橘会奨励賞授与式・懇親会 平成27年5月23日(土) 平成26年度事業報告・決算、平成27年度事業計画、予算審議、平成26年度橘会奨励賞授与式、懇親会
	正副会長会議 平成27年4月10日(金)、その他必要に応じて開催
	常任理事会・理事会 平成27年5月13日(水)、5月23日(土)、その他必要に応じて開催
講演会	会計監査 平成26年度分：決算監査：平成27年4月10日(金)、平成27年中間監査：平成27年11月下旬予定
	平成27年度橘会奨励賞選考委員会(第20回) 平成27年度奨励会懇親会 平成27年10月31日(土) ホームカミングデー開催時に同時開催予定
広報活動	「父母のための就職講座」 全10会場保護者懇談会時開催。
	アルバム撮影・作成 「たちばな」・学園新聞発行 ホームページ・Facebook 保護者懇談会開催予定表等
保護者支援	福岡会場 5月31日(日)
	熊谷会場 6月14日(日)
	仙台会場 6月20日(日)
	大阪会場 7月5日(日)
	旭川会場 8月29日(日)
	千葉会場 9月6日(日)
	長岡会場 9月26日(日)
	横浜会場 10月4日(日)
	静岡会場 10月11日(日)
	品川会場 11月8日(日)
在校生支援	平成26年度橘会奨励賞授与式(第19回) 就職祈願お守り作成 懇談会のしおり作成 施設・設備助成 平成27年5月24日(土)(定期総会時)
	平成28年2月下旬 3年生へ配布 保護者懇談会資料、各会場出席者に配布 品川キャンパス・熊谷キャンパス内未設置分洗浄便座設置寄付等 ■新規 個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用
会員情報管理	個人情報保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用

平成27年度 保護者懇談会開催日程

平成27年度の保護者懇談会を下記の日程と会場で開催予定です。在学生のご父母と大学の先生方と直接お話いただき、学生生活や就職等に関する情報収集の場としてご活用ください。
また同じ立正大学に在学する御子さんをお持ちのご父母の皆様との交流の場としてもご活用ください。

期 日	開催地	対象地域	会 場	住 所
5月31日(日)	福岡市	福岡県・大分県・佐賀県・長崎県 熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県 山口県・島根県・鳥取県・岡山県 広島県・徳島県・香川県・愛媛県 高知県	TKP博多駅前 シティセンター	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-2-1 日本生命博多駅前ビル8階 ☎092-474-5145
6月14日(日)	熊谷市	学部別全都道府県 法学部・社会福祉学部 地球環境科学部	立正大学 熊谷キャンパス	〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉1700 ☎048-536-6010 (問い合わせ先) ☎03-3493-6673
6月20日(土)	仙台市	青森県・岩手県・秋田県 山形県・宮城県・福島県	メルパルク仙台	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 5-6-51 ☎022-792-8111
7月5日(日)	大阪市	大阪府・広島県・岡山県・京都府 奈良県・滋賀県・和歌山県・三重県 岐阜県・島根県・鳥取県・福井県 富山県・兵庫県・徳島県・香川県 愛媛県・高知県	大阪第一ホテル	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-9-20 ☎06-6341-4411
8月29日(土)	旭川市	北海道	旭川 グランドホテル	〒070-0036 北海道旭川市6条通9丁目 ☎0166-24-2111
9月6日(日)	千葉市	千葉県・茨城県・東京都	ホテル ニューオータニ 幕張	〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野 2-120-3 ☎043-297-7777
9月26日(土)	長岡市	新潟県・群馬県・富山県 石川県・福井県・長野県	パストラル長岡	〒940-8550 新潟県長岡市今朝白 2-7-25 ☎0258-35-1305
10月4日(日)	横浜市	神奈川県・静岡県・山梨県 長野県・東京都	コンベンション ルームAP 横浜駅西口	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸 2-6-1 横浜APビル4階 ☎045-411-5109
10月11日(日)	静岡市	静岡県・岐阜県・山梨県 愛知県・長野県	静岡グランドホテル 中島屋	〒420-0853 静岡県静岡市葵区紺屋町 3-10 ☎054-253-1151
11月8日(日)	東京都	学部別全都道府県・仏教学部 文学部・経済学部・経営学部 法学部・心理学部	立正大学 品川キャンパス	〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 ☎03-3493-6673

平成26年度立正大学橘会決算報告書

(期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部	科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増 減
収入の部	構成団体助成金	20,000,000	20,000,000	0
	預金利息金	0	1,404	▲1,404
	積立金取崩収入	0	0	0
	雑収入・寄付金	100,000	68,000	32,000
	事業収入	800,000	704,000	96,000
	前年度繰越金	531,981	531,981	0
	収入合計	21,431,981	21,305,385	126,596

支出の部	科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	増 減
支出の部	人件費(アルバイト)	1,000,000	729,366	270,634
	旅費交通費	1,300,000	623,764	676,236
	会議会合費	600,000	512,722	87,278
	通信運搬費	1,600,000	3,146,082	▲1,546,082
	印刷製本費	2,000,000	1,166,962	833,038
	委託費	4,800,000	3,735,205	1,064,795
	手数料報酬	30,000	32,572	▲2,572
	賃借料	100,000	79,151	20,849
	事業費	9,200,000	8,186,706	1,013,294
	消耗品費	570,000	276,954	293,046
	図書資料費	50,000	48,444	1,556
	雑費	181,981	0	181,981
	積立金	0	0	0
	次年度繰越金	0	2,767,457	▲2,767,457
	予備費	0	0	0
	支出合計	21,431,981	21,305,385	126,596

【別掲】	平成26年度	増 減
定期預金(りそな銀行)	150,000,000	0
普通預金(りそな銀行)	50,000,000	▲24,000,000
普通預金(ゆうちょ銀行)	4,032,335	0
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,515,046	0
収入合計	205,547,381	▲24,000,000

平成27年度立正大学橘会収支予算書

(期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部	科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増 減
収入の部	構成団体助成金	20,000,000	20,000,000	0
	預金利息金	0	0	0
	積立金取崩収入	24,000,000	0	24,000,000
	雑収入・寄付金	100,000	100,000	0
	前年度繰越金	2,767,457	531,981	2,235,476
	懇談会参加費	0	800,000	▲800,000
	収入合計	46,867,457	21,431,981	25,435,476

支出の部	科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増 減
支出の部	人件費(アルバイト)	800,000	1,000,000	▲200,000
	旅費交通費	1,050,000	1,300,000	▲250,000
	会議会合費	500,000	600,000	▲100,000
	通信運搬費	2,300,000	1,600,000	700,000
	印刷製本費	2,000,000	2,000,000	0
	委託費	30,567,457	4,800,000	25,767,457
	手数料報酬	30,000	30,000	0
	賃借料	100,000	100,000	0
	事業費	9,200,000	9,200,000	0
	消耗品費	270,000	570,000	▲300,000
	図書資料費	50,000	50,000	0
	雑費	0	181,981	▲181,981
	積立金	0	0	0
	次年度繰越金	0	0	0
	予備費	0	0	0
	支出合計	46,867,457	21,431,981	25,435,476

【別掲】	平成27年度	平成26年度	増 減
定期預金(りそな銀行)	150,000,000	150,000,000	0
普通預金(りそな銀行)	26,000,000	50,000,000	▲24,000,000
普通預金(りそな銀行)	4,032,335	4,032,335	0
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,515,046	1,515,046	0
収入合計	181,547,381	205,547,381	▲24,000,000

INFORMATION

2015年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約1,772件・534万7千円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。



熊谷キャンパスアカデミックキューブ

02 東京	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担	振替払込請求書受領証		
00100000	417250	金額 3000	00100000	金額 3000	
立正大学校友会		料金	立正大学校友会		
校友会費B		備考	校友会費B		
会員番号: 学部学科または研究科名: 卒業年度(修了年度):		備考	会員番号: 学部学科または研究科名: 卒業年度(修了年度):		
ご連絡先電話番号		日 月 年	ご連絡先電話番号		日 月 年
【必ずお読みください】 会報誌たちまちの納入者へ宛て氏名の掲載を 許可します。 - 許可しません		日 月 年	【必ずお読みください】 会報誌たちまちの納入者へ宛て氏名の掲載を 許可します。 - 許可しません		日 月 年

立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスを4月より開始いたしました。詳細につきましては本誌5頁の記事、または校友会ホームページをご参照下さい。

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
☎ 03(3493)6673 FAX: 03(3493)9068
Email: alu@ris.ac.jp

専用紙は立正大学校友会ホームページ
(<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

お知らせください

- ◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

教職員訃報

【平成27年3月～平成27年6月】

名誉教授 勝浦 吉雄氏 (平成27年4月7日逝去)

謹んで哀悼の意を表します

【お詫びと訂正】

前号の「BOOK&WORK」におきまして、川原慎一様の卒業年に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

昭和53年経営学部経営学科卒業

ご本人様ならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。



発行者

発行人

編集

電話

URL

立正大学校友会

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

山崎 和海

立正大学学長室校友課

03-3493-6673

<http://alumni.rissho.jp/>